



情報ステーション

# しろやま

10月11日(日)

## 城山地区体育祭が開催される

澄みきった青い空、鳴り響く花火の音を合図に城山中学校校庭で第54回城山地区体育祭が始まりました。各自治会の皆様、前日の準備から当日の参加、協力と、大変お世話になりました。心からお礼申し上げます。

穏やかな日の中、行われた体育祭でしたが…一点目がけて投げ込む玉入れ、体と力のぶつかり合い、一步も譲らぬ百足リレー、技術とスピードの城山競輪、どの競技も熱く激しく、見る人、やる人共に、夢中になるものばかり。校庭中が笑顔と歓声でいっぱいでした。

私は、ここ数年、体育祭においてある変化を感じていました。それは、若いご家庭の参加が増えてきたことです。高齢社会が進む中で、この方たちにこれからの城山を担ってもらえたら、大変うれしいことだと思いました。



▲みんなで玉入れ



▲城山競輪



◀綱引き



▲上手に運びましょう

私は、この城山で生まれ、育ち、地元の方々のおかげでここまで成長してまいりました。その恩返しとは言えませんが、体育指導委員として、子どもからお年寄りまで多くの人達に、城山をもっともっと好きになって、もっともっと愛してもらえよう、これからも地域作りに努力していきたいと思っています。

城山体育協会 亀井丈彦

## 2009 ジャパンカップサイクルロードレース

10月24日(土)・25日(日)に、今年で18回目を迎えたジャパンカップサイクルロードレースを宇都宮市森林公園周辺周回コースで開催されました。この大会はアジア最高峰の自転車レースとして、また世界最大の自転車レース「ツール・ド・フランス」などで活躍しているスター選手が国内で唯一出場する大会として、日本中の自転車ファンの注目を浴びています。今年には本市を拠点としている日本初の地域密着プロ自転車ロードレースチーム「宇都宮ブリッツェン」の選手も出場し、山岳賞を受賞しました。



## 文化祭・農業祭が 開催されました

城山地区文化祭・農業祭が10月31日(土)と11月1日(日)の2日間、晴天のなか開催されました。市民センター玄関の特設ステージではお囃子が演奏され、市民の皆さんは家族連れで自転車やシャトルバスを利用して、それぞれの目的のコーナー目指して定刻前より続々と集まりました。セレモニー開始の挨拶があり、農産物の即売会が幕開け、模擬店もそれぞれ趣向をこらして、皆さん知り合いのお母さんやPTAの役員さんが腕によりを掛けて味付けをされ、どこのブースも行列ができて休憩所もすぐに一杯になりました。一番奥のほうでは、「開運しろやま探検隊のブース」が今年から新しく加わり、大谷石の石窯で焼いたピザが開店間もなく完売になり、「大谷石に絵付けをしてみよう」のコーナーでは、子どもたちが思い思いの絵筆を走らせていました。「しろやま物知り検定」も随時行われて、最終問題はセンター隣にある「大谷石採取場跡地観測システムコーナー」に行けば正解のヒントが用意されているというように、総合的にあちこちを見て回答するよう工夫がありました。両日も盛会の内に終了しました。

コミュニティ協議会文化部長 永森 庄仁



## 第21回 ひとり暮らし一日憩いのつどい

ひとり暮らしの高齢者をご招待しての第21回ひとり暮らし高齢者「一日憩いのつどい」が、11月20日（金）に行われ、主催の城山地区社会福祉協議会メンバーを含め70名の参加がありました。今回は昨年までと違い、鹿沼市のウェルサンピア栃木（栃木厚生年金休暇センター）での、お芝居見物と、豪華な食事、はては温泉入浴と至れり尽くせり(?)の内容で、参加者の皆さんは大いに楽しんだ様子でした。年を追うごとに参加者が多くなり、嬉しい限りです。



民生委員 笹原 定一



## 一言「有難う」が嬉しい敬老会



敬老会の翌朝も愛犬の黒ラブ・レインとの散歩で始まります。前方から来る車で道路端に立ち止まると、車は停車し窓越しに『敬老会ご苦労様』との感謝の言葉を掛けて頂き快い一日が始まりました。

野尻自治会での敬老会の実施計画は、5月の連休明けに開催日やアトラクションを決め、8月に準備委員の自治会五役・区長・民生委員・老人会の方々に最終打合せを行います。敬老会前日は、年に1度の野尻公民館の季節はずれの大掃除が、準備委員で行われます。現在の公民館が完成した平成10年頃からの年中行事になりました。

敬老会は、9月20日（日）に実施され午前8時より記念品の配布、9時より受付が開始され、対象者160名の内47名が出席されました。アトラクションでは、コーラス・尺八・子供お囃子会の太鼓・ビンゴゲームが行われました。コーラスでは、はじめに全員で『県民の歌』を合唱し、お年寄り向けの『カタパラ体操』、『健康体操』を行いました。子供お囃子に目を細める姿も見受けられました。ビンゴゲームでは、次の数字の発表を待つお年寄りの熱心な姿を見ては、予定時間を過ぎて直ちに終了する事ができませんでした。

乾杯の音頭の後、お赤飯・とん汁の会食に入りました。和やかな会話の中で話は弾み、刻々と終わりの時間が迫ってきましたが、一人だけ食事をされている方が目に入りました。赤飯を丁寧に召し上がり、とん汁をゆっくり召し上がる姿を見ては、終える事ができず待つことになりました。

最後に玄関にてお見送りをしました。お年寄り一人ひとりから『有難う』との感謝の言葉を頂きました。敬老会は、区長・民生委員・福祉協力員の協力により無事終了しました。



野尻自治会長 小原 良一

## 長坂長寿会の介護予防教室

9月18日(金)、長坂長寿会員らは地域の小高い丘に建つ宇都宮短期大学人間福祉学科のオープンキャンパスに行ってきました。入口で笑顔一杯の信夫亨事務局長の出迎えを頂きました。まず、介護福祉専攻主任の中川英子教授から『よくいらっしゃいました。大学も地域社会との相互関与を真剣に取り組む必要を求められています。同じ町内の皆さんと身近に交流できて嬉しい。これを機会に親しくお付き合いください。』との挨拶がありました。

続いて武蔵坊弁慶の再来かと思わせる河田隆教授から高齢者福祉におけるレクリエーションについてユーモア溢れる話の後、介護予防に結びつくレクリエーション用具4種(輪投げ・室内ペタンク・ゲートボールスティックでの玉入れ・長いスティックで金属の円盤を突いて得点エリアを獲得するもの)による、体と頭脳を使うゲームに興じました。



お茶の間の時間には『先ほど拍手のゲームで間違っでは笑い、出来たと笑い、大笑いで楽しかったです。笑えばくつろぎ、周りの人まで楽しくさせ、血行が良くなり皆の健康な身体が出来ます。遠慮なしに何時も皆さんで大笑いして長生きしましょうね。』とレクリエーションの大切さを教えてもらいました。

次はにこやかなイケメンの古川専任講師が担当してくださいました。彼は、プロコメディアン、高齢者福祉施設での経験、国際医療福祉大学院修士としての研究を重ね、高齢者福祉施設や宇短大非常勤講師、訪問リハビリに従事し、自立支援介護の実現と後継者指導を行っています。



介護機器・施設の説明では、ベットから患者を車椅子に乗せる際、車椅子のベット側の手すりが外れ、患者のお尻の下に塩ビシートを敷いて横から押せば車椅子に乗れるもの、湯船が電動で上がってきて入浴できる風呂等、介護する人の腰痛発症を軽減する機器などに進歩がみられるようです。ただ値段が高く、介護施設はあっても介護機器の不足では、介護士の体力依存やその賃金の安さから一朝一夕には解決出来ない問題があるようです。

最後に、公民館の介護予防教室のカリキュラムに入っていない筋力強化体操と大声を出してストレスを解消する方法を学びました。最後に、中川英子教授に大声で『ありがとうございましたあ!』で散会になりました。

長坂通信員 沢井 勇

なお、だれでも自由に大学の見学ができるオープンキャンパスは次のように開催しています。

毎週土曜日 / 9時～、10時～、11時～

# 城山クリーンアップ2009活動報告

## みんなできれいに 住みよい城山

2009.8.8(土)

城山クリーンアップ2009は、活動しやすい天気  
に恵まれ、PTAや小学校、育成会、地域の方々を  
含め395名で地域をきれいにすることができまし  
た。たいへんありがとうございました。年々地域  
から参加される方が増えています。また今年度  
も(株)JTより、ゴミ袋と軍手の寄贈をいただき  
ました。6年目を迎え、ますます活動が充実して  
おります。これからもご協力お願いいたします。

7/3 自治会長会議に参加し、  
協力依頼をしました。



PTAの方々に車でのゴミ回収  
でお世話になりました。



地域の交通  
安全にも  
貢献したい。



カーブミラー清掃

大谷の入口が  
すっきりしました。  
58名で



地域の方も参加  
いただき、共に  
汗を流しました。



ジャパンカップで有名な  
森林公園通りにて 40名で

市営大谷駐車場にて 138名で



約750kgのゴミや草を  
回収しました。



多気不動尊近くの萩の道にて 66名で

感謝状です。



おかげさまで城山クリーンアップが日本ロマンチック  
街道協会より感謝状をいただきました。 城山中生徒会

## 農業王国しろやま! 日本橋に鮮烈デビュー

10月25日(日)に東京日本橋を中心に行われた、「第37回日本橋・京橋まつり」に、農業王国うつのみやをPRするため城山地区と清原地区が参加しました。当日は小雨まじりの天候ではありましたが、城山地区からは大型バス1台とトラック1台に農産物や農産加工食品を積んで、早朝の東北自動車道を東京へと向かいました。

城山からは、農産物・農産加工食品・みみうどん・焼き栗・焼きとうもろこしを出店し、テント2張りのスペースに並べられました。お昼前後には最高の人出となり、午後3時くらいには各種出店品目が完売となり、御礼の手拍子が鳴り響きました。途中、佐藤宇都宮市長も駆けつけ、両手に野菜や米を持って、農業王国うつのみやを大きな声でPRしていました。帰りの車中では、次年度への抱負も語られ、スタッフの顔にも安堵の色が満たされたさわやかな一日となりました。

コミュニティ協議会事務局長 枝 俊男



## ツツジとアジサイの彩る大谷に

### よみがえれ大谷

プロジェクトエコ実行委員会



奇岩群の中で



一本一本心をこめて

11月29日(日)、大谷町兜岩周辺で、「よみがえれ大谷プロジェクトエコ実行委員会」によるツツジの植栽が行われました。

当日は晴天に恵まれ、赤や黄色に彩られた木々と奇岩群の中、ボランティアの皆さんも含め50名を超える人たちが、ツツジ600本以上を兜岩周辺の傾斜地に一本一本ていねいに植え込みました。

「よみがえれ大谷プロジェクトエコ実行委員会」では、世界に類を見ない景観や遥かなる長い歴史を併せ持つ「石の里・大谷」の、更なるイメージアップと観光振興のために、一昨年から大谷景観エリアにツツジやアジサイなどの花木の植栽を始め、この地域の持つ新たな魅力を創造し、「大谷」の活性化を目指しています。

今年7月のアジサイの下草刈りに続き、今回は今年度2回目の作業でしたが、来年3月にはアジサイの植栽を行う予定です。春にはアジサイやツツジが大谷や多気山参道を彩ることと思いますので、皆さんも、近くをお通りの際は、ご覧になってください。

よみがえれ大谷プロジェクトエコ実行委員会

## フェスタin大谷を開催して

9月4日(金)～6日(日)、第10回フェスタin大谷を、地域の皆様の支援の中で盛大に開催することができました。心よりお礼申し上げます。振り返ると、陥没という事故を機に大谷を含め城山の地域が危険な所、そんなイメージが覆うなか、この雰囲気<sup>おお</sup>を何とか変えなければと、その想いを積み重ね10回の開催となったのではないかと思います。先輩の方々のご苦勞のおかげで、フェスタin大谷が、今、地域振興の牽引役を務めることができるようになったのかなと考えております。子どもたちが無心にたたく太鼓や、小さな手が生み出す琴の



▲ステージでも多彩なイベントが



▲前夜祭(石あかり展)

音、また石あかりの炎の中で奏でるエレクトーンは、見る人に時を忘れさせてくれる不思議な世界をかもしだしてくれました。リーディングライブは多気山持宝院の雰囲気の中で、朗読に目頭をおさえながら聞き入る人、すすり泣く人、ここにも人の心を動かす不思議さを感じました。頑張れと陰で支えてくれる協賛企業の方々や安全協会、自治会、消防団と手助けをいただきながらの開催ですが、この10回の開催を機に、イメージを一新し、再生大谷を発信できるフェスタを志します。変わらぬ支援をお願いし報告とさせていただきます。

フェスタin大谷実行委員会 大垣 忠義

### 痛感した ごみ減量 清掃施設見学会

12月1日(火)、板戸町のエコパーク板戸で、城山地区リサイクル推進協議会の清掃施設見学会が行われました。

城山地区のリサイクル推進員と自治会役員14名が参加し、エコパーク板戸の概要とごみ分別について説明を聞き、施設の特色やごみ減量の具体策などについて熱心に質問しました。参加した人は「最終処分場を目の当たりにして、施設の延命化に努力しなければと痛感。地域の人にも、ごみ減量を理解してもらわなくては」と話していました。



▲ごみ分別ゲーム



▲エコパーク板戸展示コーナー

# 多氣山近辺の大昔を探る

10月1日(木)実施の城山中央小ミステリーツアーより

## 多氣山の高さ

私は盛んに「富士山の一割…377mです」と覚えやすいようにと宣伝しています。にも関わらず、「せいぜい100mもありませんね」などと山登り専門のトレッキングの関係者が解説していたそうです。海拔での高さはあくまで「377m」に変更はありません。それは、比高というべきところを省略したためです。途中の国道293号が海拔幾らとあるから比高で何mと話せばよかったです。

## 大谷石の露出

この石が露出するまで、海拔300mのところまで砂利層がいっぱい詰まっていた。それが、地球創生時代の度重なる大洪水で押し流されて、大谷石の層が露出したのです。多氣山の頂上付近は最初から77mだけ頭を出していたと考えると良いでしょう。まだ、その面影が多氣山北斜面に残されています。※大谷石の露出の一番西側は国道293号が境界になります。

## 多氣山城

この城を破却せよと言われた後、二度ほど手直しをして臨時の宇都宮城守護の侍たちが「関東仕置き」のときなど使用していたようです。いきなり豊臣秀吉から領地没収の宣告を受けたとき、お城の四方に守護神として祀っていたもののひとつ＝北の守り＝「毘沙門天」をこっそり【宇都宮国綱】の命により多氣山南麓に遷座させ、現在も一人で御祀りしている方がいます。多氣城築城に当たり四方の地鎮の神に【四天王】を選んだことが分かりました。

宇都宮市文化財解説・観光ガイド 永森 庄仁

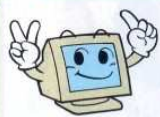
## 編集後記

先日、市民センターで開催された文化祭・農業祭で、広報部は石窯ピザの売店のお手伝いをしました。普段は広報誌、ホームページの取材を外部からやっていますが内側からピザ作りを体験するのは初めてです。担当の方からピザ生地を伸ばすやり方を教わり、恐る恐る生地を

伸ばしていきました。慣れてくると面白さも加わり、何とか100枚、形はいろいろですが作ることができました。出来上がったピザを試食させていただき、その美味しさに一安心。

貴重な体験をしました。出店している方々のご苦勞が少しでも分かるような広報にしたいと感じました。 広報部一同

## 城山地区ホームページが楽しい!



「情報ステーションしろやま」の創刊号(1号)から最新号までを収録しております。是非ご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www2.ucatv.ne.jp/~shiro333/>

## 城山地区の人口(平成21年11月末日現在)

- 総世帯数 9,008世帯 ●総人口 23,277人
- 男: 11,483人 女: 11,794人

編集・発行

城山地区コミュニティ協議会

〒321-0345 宇都宮市大谷町1059番地5  
宇都宮市城山地区市民センター内  
TEL 028-652-4794 FAX 028-652-5570

